



- 〈展覧会紹介〉特別企画展「大どろぼうの家」
- 〈イベント報告〉特別企画展「ミュシャ展 ～アール・ヌーヴォーの女神たち～」
- 〈報告〉福井県立美術館ボランティアの会／博物館実習報告
- 〈インタビュー〉ただ今準備中！担当学芸員インタビュー
- 〈作品貸出紹介〉福井県立美術館のコレクションが見られる展覧会
- 冬の展覧会のお知らせ
- 展覧会特別メニューのお知らせ
- 休館日のお知らせ

[2～3]

[4～5]

[6]

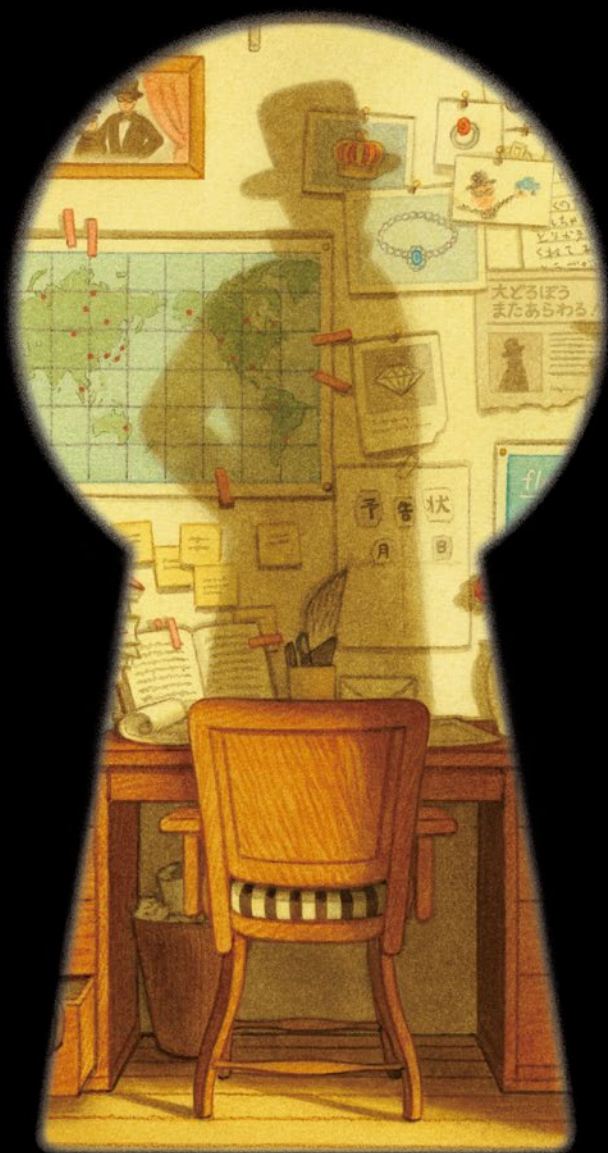
[7]

[8]

MUSEUM NEWS Vol.182

だ	美
よ	術
り	館

表紙：©Maiko Dake





大どろぼうの家

©Maiko Dake

2025.11.22 (土)
2026.1.12 (月祝)



© Shinsuke Yoshitake

9:00 17:00 (入館は16:30まで) ※11/22 (土) は10:00～

休館日：11/25 (火)、12/1 (月)、12/8 (月)、12/15 (月)、12/22 (月)、
12/30 (火)～2026/1/1 (木)

観覧料 前売券：一般 1,200円 (10/4～11/21まで)
当日券：一般 1,400円 (1,120円) | 高校生 900円 (720円)
中小生 600円 (480円) 未就学児無料 ※ () 内は20名以上団体

前売券▶会期前日 (11/21) までに前売券販売所またはコンビニ端末でお買い求めください。
【前売券販売所】福井県立美術館ミュージアムショップ (開館日のみ)、
勝木書店 (Super KaBoSプラスゲオニの宮本店、Super KaBoS大和田店)
【コンビニ】ローソン、ミニストップ店内にあるLoppi (ロッピー) 端末 (Lコード：53950) にて操作し、
発券してください。
当日券▶会期中、観覧会場の発券売場にて販売 (現金のみ)
※学校鑑賞会 (対象は福井県内学校のみ・要申込) は無料 ※障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は半額
※高校生の方は生徒手帳の提示が必要です

主催 | 大どろぼうの家実行委員会 (福井県立美術館、FBC)
後援 | 福井新聞社、月刊ウララ 企画協力 | ブルーシーブ株式会社

1 福井県立美術館が

大どろぼうの家になる!

1 緑の回廊



「すてきな三にんぐみ」
Copyright ©Tomi Ungerer Estate and Diogenes Verlag AG, Zurich

江戸時代に浄瑠璃や歌舞伎などで演じられた伝説的な大どろぼう「石川五右衛門」、かのモナ・リザを盗んだ男として知られるイタリアの「ペルージャ」。ドイツの児童文学作品でコショウビストルを響かせる「ホッツェンブルツ」、絵本で馴染みの「すてきな三にんぐみ」。ラテン語で泥棒の異名をもつ恐竜「ラプトル」まで。大どろぼうから依頼をうけたという設定で、イラストレーター伊野孝行が、古今東西の大どろぼうの肖像画を15点、ユーモアたっぷりに描き、回廊を飾ります。

4 白の小部屋



酒井駒子、さくらももこの美術品コレクションが展示されています。

7 トリコロールの廊下

引退を決めた大どろぼう。後継者を育てるための絵本を作ろうと考え、著名な絵本作家を盗み出すことにしました。ヨシタケシンスケさんに白羽の矢を立てた大どろぼうは見事にヨシタケさんを盗み出し、「どろぼうを育てる絵本」を描く指令を出します。ところがヨシタケさんは予想を裏切る絵本を作り、大どろぼうを感服させました。展覧会では、大どろぼうのコレクションのひとつになった、絵本の原画を展示します。ヨシタケさんが絵本に込めたメッセージとは?

「大どろぼう」の家は8つの部屋で構成されます。部屋ごとに展示物には特徴があり、趣味やしつらえも異なる様子に気づきます。大どろぼうの家の主は1人ではなく、たくさんいるのでしょうか?



★

2 青の応接間



★

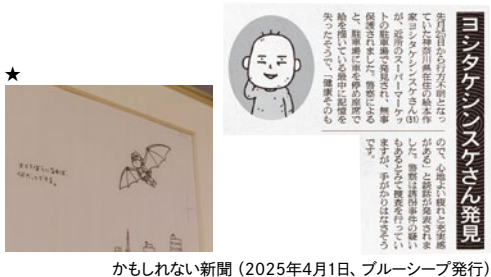
大真面目な大どろぼうは、建物や鍵の構造、警備システムの抜け道、身体の可能性の追求など、様々なことを本から学びました。応接間の本棚には蔵書がずらりと並び、変装道具も飾られます。目を凝らせば、大どろぼうが引退を決めた理由にも気づくかもしれません。「青の応接間」のディレクションは、ブックディレクターの幅允孝が担当します。

5 銀の庭



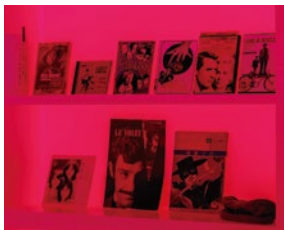
★

宇宙にあこがれていたロマンチストの大どろぼうが、谷川俊太郎の計報を聞き、宇宙や星をめぐる15の詩を盗み出し、庭を飾りました。谷川俊太郎の詩の朗読と谷川賢作による音で構成するインスタレーション「銀の庭」です。



かもしれない新聞 (2025年4月1日、ブルーシーブ発行)

3 赤の隠し部屋



★

祖父、父、孫の3世代が集めたどろぼうに関する大量の資料やグッズ、絵本が並びます。

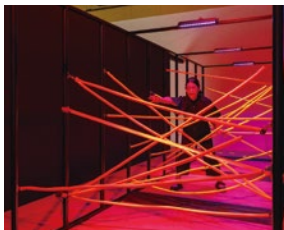
6 黒の壁



★

暖かい家を作るために
ガラスが集めた片方だけの靴下コレクション

8 光の蔵



★

大どろぼうの家の奥にある「光の蔵」には、大どろぼうの偏愛品やガラクタが大切に展示され、さらにはどろぼうを目指す子どもたちが訓練に励むどろぼうジムがあります。赤外線が張り巡らされたお宝に、来場者は近づくことができるのでしょうか。空間のディレクションは新井風倫が担当しました。

大どろぼうとは一体だれなのか! 来場者が主役になる、没入型エンターテインメントの展覧会

許されざる罪人でありながらも、古今東西の物語に数多く描かれてきた「どろぼう」。超人的な能力者として、謎めいたヒーローとして、時にはおっちょこちょいで親しみのある存在として、人はどろぼうに憧れ、惹かれてしまうのはなぜでしょう。

本展は、最後の盗みに出て留守中の、かの有名な「大どろぼう」の家に来場者が忍び込むという設定で構成した、来場者が主役の展覧会です。回廊、応接間、隠し部屋など8つの部屋に分けられた展示室には、どろぼうの肖像画や変装道具、さらには著名作家たちの美術品のほか、星、靴下など謎が謎を呼ぶコレクションが並びます。来場者は、無事に大どろぼうの家から抜け出て、この家に住む大どろぼうの正体を突き止めることができるのでしょうか。

映像作家の新井風倫、イラストレーターの伊野孝行、同じくイラストレーターの嶽まいこ、編曲家・ピアニストの谷川賢作、ブックディレクターの幅允孝、建築家の張替那麻、アートディレクターの名久井直子、絵本作家のヨシタケシンスケら各ジャンルの豪華なキャストが贈る、どろぼうや人間の不思議さ、おもしろさを新しい没入体験と共に楽しめる展覧会です。

特報 藤田嗣治コレクションで有名な軽井沢安東美術館から、藤田嗣治作品が2点特別出品されます。

2 展覧会を作る豪華キャスト

本展では絵本作家、イラストレーター、建築家、アートディレクター、映像作家から多数のクリエイターが参加します。「どろぼう」をテーマに、新作の絵画やインスタレーション、体験型の展示が揃います。

「大どろぼうの家」制作 参加クリエイター

- | | |
|--------------------------------------|--|
| ●名久井直子 (アートディレクター)
― 会場アートディレクション | ●幅允孝 (ブックディレクター)
― 「青の応接間」ブックディレクション |
| ●嶽まいこ (イラストレーター)
― ビジュアル制作 | ●谷川賢作 (編曲家・ピアニスト)
― 「銀の庭」演奏・朗読 |
| ●張替那麻 (建築家)
― 会場デザイン | ●ヨシタケシンスケ (絵本作家)
― 「トリコロールの廊下」絵本描き下ろし |
| ●伊野孝行 (イラストレーター)
― 「緑の回廊」肖像画制作 | ●新井風倫 (映像作家)
― 「光の蔵」ディレクション |

3 4冊の関連書籍と、オリジナルグッズをミュージアムショップで販売

4冊のどろぼう書籍

- ①「まだ大どろぼうになっていないあなたへ」
著・ヨシタケシンスケ 訳・大どろぼう (佐藤亜子) 1,320円 (税込)
大どろぼうに盗まれたヨシタケシンスケが描いたどろぼうの絵本。
- ②「谷川俊太郎詩集 星たち 大どろぼう選」
詩・谷川俊太郎 写真・前康輔 1,980円 (税込)
大どろぼうが盗み出した谷川俊太郎の15の詩と、主人不在の家の中の撮り下ろし写真で構成。
- ③「大どろぼうの家 大どろぼう 文・絵」
文・草刈大介、永岡綾 絵・コジマユイ 1,320円 (税込)
展覧会を構成する8つの部屋を描いた物語。
- ④「どろぼうたち 大どろぼう 編」
解説・鈴木智彦 絵・伊野孝行 1,100円 (税込)
古今東西のどろぼうの紹介と、「人はなぜ、どろぼうに惹かれるのか?」を問う論考

※いずれもブルーシーブ刊

グッズもどろぼう尽くし!



© Shinsuke Yoshitake

いままで日本ではほとんど作られてきたことがない、『すてきな三にんぐみ』『大どろぼうホッツェンブルツ』のグッズが登場。こんなにたくさんさんのグッズが世に出るのは、本展が初! また、ヨシタケシンスケの新作絵本から生まれたオリジナルグッズまで、「どろぼう」に関連するユーモアあふれる楽しいアイテムが多数並びます。

☆

☆©コジマユイ ★画像はイメージです。実際の配置・建物形状が一部異なる場合がございます。 撮影:高橋マナミ

関連企画

◎当日観覧券必要・申込不要

■管理人が案内する、大どろぼうの家の「種あかし」
11/23 (日)、11/24 (月・祝)、11/29 (土)、11/30 (日)、12/6 (土)、
12/14 (日)、12/20 (土)、12/28 (日)、2026/1/10 (土)、1/11 (日)
午前 11 時～ 約 20 分程度

■かくされたハートをさがせ! ハートどろぼう大作戦
11/29 (土) 午後 3 時～、2026/1/4 (日) 午前 11 時～
約 40 分程度
協力: 福井県立美術館
ボランティアの会



☆

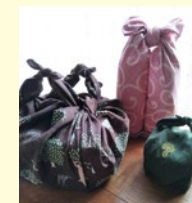
■どろぼう絵本の読み聞かせ会

12/6 (土)、12/7 (日)、12/28 (日)
午後 2 時～ 約 20 分程度
読み手: 梅田悦世
(日本朗読検定協会 読み聞かせ講師、エテュード朗読教室主宰)
協力: 福井県立美術館ボランティアの会

◎当日観覧券必要

申込は美術館 HP お問い合わせフォームから

■大どろぼうも愛用 風呂敷包みワークショップ
12/14 (日) 午後 3 時～4 時 参加費無料
定員: 15 名
講師: 山本瑞恵 (瑞乃和)
協力: 福井県立美術館
ボランティアの会



■宝物はここに 千両箱づくりワークショップ

12/27 (土) 午前 10 時～、午後 1 時 30 分～
約 1 時間程度
参加費無料 定員: 各回 15 名
講師: 内藤秀信 (こじら工房)
協力: 福井県立美術館
ボランティアの会



◎申込はミュージアムショップ

もしくはinfo@greenlab.jpから

■「大どろぼうの家」ナイトミュージアム
12/6 (土) 午後 6 時～8 時
参加費: 一般 4,000 円 中小生 2,000 円
(展示解説・入場料・ミニコンサート込)
定員: 40 名
演奏: アンサンブル
『COLORS』



限定メニュー
カフェドミューゼバポテにて
限定メニューをお楽しみください。
※カフェのみの利用の場合は観覧券不要
※8ページに限定メニューの紹介があります。

イベント詳細・申込は
こちらをご覧ください



ミュシャ展

アール・ヌーヴォーの女神たち

2025 7.19 SAT >>> 8.31 SUN

主催 ミュシャ展福井実行委員会 (福井県立美術館、福井新聞社、福井テレビ)
企画制作 アール・ヌーヴォーの女神たち実行委員会
協力 OGATAコレクション



19世紀末から20世紀初頭にかけて活躍したアール・ヌーヴォーを代表する芸術家、アルフォンス・ミュシャ。その華やかな作品をリアルとデジタルの両方で堪能できるハイブリッド展覧会を開催しました。

本展覧会の最大の目玉は、「いま、見て感じる動くミュシャ」をテーマにした臨場感あふれる映像空間です。まるで19世紀のパリの街並みに迷い込んだかのような世界観の中、ミュシャが描いた「女神たち」がダイナミックに躍動し、来場者に強い印象を与えました。また、展示作品は、世界有数の作品所蔵数を誇るOGATAコレクションの全面協力のもと、約380点を4章構成で紹介しました。



「動くフォトコーナー」。
ミュシャが描く「アイリス」の作品世界に没入できます。

代表的な商業ポスターや装飾パネル、図案集、商品パッケージなど、ミュシャが初期から晩年にかけて手掛けた多様な作品が一堂に会しました。

さらに、会場内には来館者が楽しめる「動くフォトコーナー」も設けられました。中でも、特に好評だったのは没入型のフォトコーナーです。ここでは、ミュシャが描いた《花》シリーズの一つである「アイリス」の作品世界に入り込むような体験ができ、多くの来館者に好評でした。

芸術とテクノロジーが融合した新しいミュシャ展を多くの人々に堪能いただける展覧会となりました。

《関連イベント》

● 尾形寿行氏によるギャラリートーク

[日 時] 7月19日(土)
11:00～
8月2(土)・16日(土)
11:00～
14:00～
30日(土)・31日(日)
17:00～
[会 場] 美術館展示室
[参加人数] 計461人



《椿姫》の前で解説する尾形氏

● アートと音楽で奏でる「ミュシャ」ナイトミュージアム

[日 時] 7月20日(日)18:00～20:00
[場 所] 美術館展示室
[チェロ演奏者] 荒井 結
[参加人数] 53人
[主 催] ミュージアムショップ

● 見どころ解説会

[日 時] 7月26日(土)、8月9日(土)、23日(土)、30日(土)
いずれも10:30～
[会 場] 美術館講堂
[参加人数] 計149人

● オリジナルサシェ (ハーブの香り袋) を作ろう！

[日 時] 7月26日(土)11:00～13:00～
[会 場] 美術館貸展示室
[講 師] 稲葉美智子
(NPOジャパンハーブソサエティー上級インストラクター)
[参加人数] 49人



リラックスや
リフレッシュなど
用途に合わせて
ハーブを選びます

完成品がこちら！

● ミュシャのしおりを作ろう！

[日 時] 7月27日(日)、8月9日(土)
13:00～16:00
[会 場] 美術館貸展示室
[参加人数] 計292人
観覧券をアップサイクルしてしおりを作りました！



● 色えんぴつでミュシャらしい配色を表現してみよう！ーぬり絵体験ー

[日 時] 8月11日(月祝) 11:00～
[会 場] 美術館貸展示室
[講 師] 色彩イラストレーターえこ 船井里江子
[参加人数] 87人



色使いについて、船井氏から参加者にレクチャー

● 学芸員トークサロン

[日 時] 8月22日(金) 18:00～
[会 場] Café de musée PAPOTER 美術館併設喫茶室
[参加人数] 5人

● ミュシャ展 SNS投稿キャンペーン

[日 時] 7月19日(土)～8月31日(日)
ミュシャ展の会場内の様子をハッシュタグ付きでSNSに投稿してくださった方に、オリジナルコースターをプレゼントしました。



● チケットホルダープレゼント企画

[日 時] 7月19日(土)～8月31日(日)の間の平日
ミュシャ展開催中の平日限定で、各日来場先着20名様にチケットホルダーをプレゼントしました。

福井県立美術館ボランティアの会

《研修旅行 報告》

福井県立美術館ボランティアの会では、7月27日(日)から28日(月)の2日間、ボランティア結成30周年記念イベントの打ち合わせや、先進館視察などを行うため、研修を東京、横浜で行いました。

11月からの「大どろぼうの家」展では、ボランティア主催のワークショップがあるので、メンバーは真剣そのもの。観覧者が楽しむためにどういう工夫が必要か、どういうワーク

ショップがいいか、ということを昼食中も帰りの電車でも熱心に話し合いました。

仕事や子育てに忙しいボランティア会員が一堂に会するのは難しく、研修後はオンラインでワークショップの打ち合わせを続けています。現在、鋭意準備中の「大どろぼうの家」展のワークショップを、皆様どうぞ楽しみにしてください。

行程	7月27日(日)	PLAY! MUSEUM「大どろぼうの家」展 産業活性化拠点「HOME/WORK VILLAGE」	ワークショップ視察、打ち合わせ
	7月28日(月)	横浜美術館リニューアルオープン記念展「佐藤雅彦展」	視察

【参加者】
ボランティア会員 5名
佐々木美帆
(福井県立美術館ボランティア担当学芸員)



前会場PLAY! MUSEUMの
「大どろぼうの家」展にて



博物館実習報告

《博物館実習》8月13日(水)～17日(日)

今年度も学芸員資格取得を目指す学生を対象に博物館実習を実施し、長岡造形大学から1名の学生を受け入れました。

1日目	初日は田中館長より、美術館全体や学芸員の仕事についてお話ししました。続いて、館内のバックヤードおよび開催中の展覧会を見学し、監視スタッフの業務補助も体験しました。
2日目	掛軸の取り扱い方法について学んだ後、作品の保存や管理について美術館が日ごろ行っている業務の説明を行いました。文化財 IPM（総合的有害生物管理）にも触れ、収蔵庫の清掃作業を実施しました。また、学芸員の就職活動に関する情報提供も行いました。
3日目	岡倉覚三『茶の本』の鑑賞を通して、書かれた当時の時代背景や、茶道が日本文化や思想に深い関わりがあることを学びました。また、「台天目」「茶箱 卯の花」点前の客としての作法を通し、茶道具の取り扱いを学びました。
4日目	展示室および収蔵庫内に設置された温湿度計を使用して、温度と湿度の計測を行いました。その後、適切な温湿度管理の方法について学びました。また、開催中の展覧会に関連するイベントの補助も行い、来館者との交流を通じて展覧会の理解を深める機会となりました。
5日目	実習の集大成として、企画展示の立案および発表を行いました。学生はこれまでの学びを活かし、独自の視点で企画をまとめました。

5日間にわたる博物館実習は、無事に終了しました。学生にとって、学芸員としての業務理解を深める貴重な機会となりました。



3日目の茶道体験の様子



5日目の発表の様子

ただ今準備中!

担当学芸員インタビュー

冬の福井県立美術館では、「水庭に美をあつめて ～佐川美術館コレクション～」を開催します。佐川美術館の所蔵作品を紹介する今回の展覧会について、担当学芸員に聞きました。【話し手：学芸員 田中亜季／聞き手：学芸員 西川奈津美】

—はじめに、「水庭に美をあつめて ～佐川美術館コレクション～」とはどういった展覧会なのか、教えてください。

滋賀県の琵琶湖沿いに建つ佐川美術館の有する、日本画家・平山郁夫、彫刻家・佐藤忠良、陶芸家・樂直入（十五代吉左衛門）のコレクションを一堂にご紹介するもので、約70点の作品をご覧いただけます。

—展覧会タイトルは「水庭に美をあつめて」となっていますが、これにはどんな意味や思いが込められていますか。

象徴的なタイトルを目指しました。三人の作家を「美」という言葉にまとめ、佐川美術館の特徴の一つである「水庭」に収集されていくイメージです。響きも含めて、我ながらいいひらめきだったと思っています。

—今回の展覧会はこういった構成になっているのでしょうか。

本展では「美しいものを美しく」「作品をじっくりとご鑑賞いただく」を目指しています。佐川美術館で収集されている3作家の作品を展示するのですが、作家を年代順に追う

のではなく、いくつかテーマを設けてご紹介するものです。

—特に注目してほしいおすすめの作品はありますか？

メインビジュアルの「梵鐘」(国宝)は注目してほしいです。他の梵鐘と比べて細身なのが特徴で、上品な美しさがあります。佐川美術館が所有される唯一の国宝で、なかなかお目にかかれない珍しいものです。



佐川展 チラシ校正風景

水庭に美をあつめて ～佐川美術館コレクション～
会 期●2026年2月14日[土]～3月15日[日]
休館日●会期中無休
詳細はホームページよりご覧ください→



福井県立美術館のコレクションが見られる展覧会



blooming
「日本画×始動 明治後期、花開く日本画と文展開設」
富山県水墨美術館 2025年10月17日(金)～12月14日(日)

明治40年の文部省美術展覧会（文展）の開設を一つの軸と捉え、その前後の「日本画」の展開を見つめ直す展覧会。巨匠たちの初期作品や、各展覧会に出品された希少な現存作品を通し、当時の日本画の動向を概観します。

当館からは、今村紫紅《日蓮辻説法》(明治36年) および岡倉秋水《矢面》(明治40年) が出品されます。



「生誕150周年記念 熱誠の日本画家 渡辺菜渚」
越前市武生公会堂記念館 2025年10月17日(金)～11月24日(月・祝)

福井県今立郡栗田部村（現・越前市栗田部町）出身の日本画家・渡辺菜渚の画業を辿る展覧会。地元栗田部で大切に遺されてきた作品を中心に、中央で高い評価を得ながら名聞を求めることを嫌い、純粋なる作品の追及に生涯を賭した日本画家・渡辺菜渚の画業を辿ります。

当館からは、《渡辺菜渚書簡 和紙の受領》(大正12年)、《松鶴図屏風》(昭和前期)、《晴霞浄艶・朝陽鶴涙・泉聲松韻》(昭和11年) が出品されます。



「能と狂言 — 桃山の遺風 —」
福井市立郷土歴史博物館 2025年10月11日(土)～11月24日(月・祝)

一般財団法人林原美術館の特別協力のもと、旧岡山藩に伝わる能・狂言のコレクションを紹介。桃山時代の重要文化財である能装束を中心に、越前に残る面や、越前松平家に伝わる江戸時代の史料・能装束を通して、地域の歴史と能文化を振り返る展覧会です。

当館からは、作者不詳《能面（父尉）》(鎌倉時代)、友閑満庸《能面 深井》(江戸時代) が出品されます。

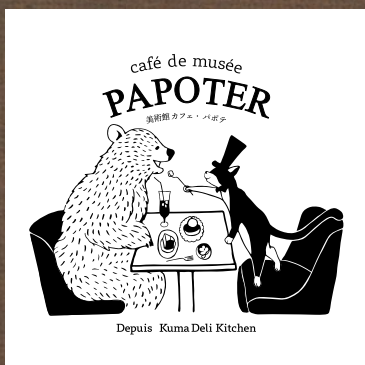
「水庭に美をあつめて ～佐川美術館コレクション～」

【会期】2026年2月14日(土)～3月15日(日)

※会期中無休

対岸に比叡山を望む琵琶湖のほとりに佇み、水庭と自然に調和した建物が象徴的な佐川美術館。平和への祈りを仏教伝来の道シルクロードに重ねた日本画家・平山郁夫。一瞬の人間の美を追求した彫刻家・佐藤忠良。桃山時代以来の樂茶碗の伝統に在りながら前衛的な作風を築き上げる陶芸家・樂直入（十五代吉左衛門）。日本を代表する三人の巨匠の作品を中心に収蔵・公開しています。

本展では佐川美術館のコレクションを、全国で初めて一堂にご紹介するものです。平山郁夫の《大唐西域画》（全七面）、佐藤忠良の帽子シリーズや誰もが知る《おおきなかぶ》のレリーフ、樂直入は黒樂・赤樂の他に同館のコラボレーション展「吉左衛門X」で制作された作品など、約70点をご覧ください。さらに比叡山ゆかりの国宝・梵鐘も展示します。佐川美術館の誇る美の数々を心ゆくまでご堪能ください。



【営業時間】

9:00～17:00

【定休日】

不定休

* Instagram、
店頭のカレンダー
をご覧ください。



Instagram

「大どろぼうの家」コラボメニュー

大どろぼうの家にちなんだ、パポテのアイコンでもあるクマさんをどろぼうモチーフにしたクッキーと、新キャラ「どろぼう君」のラテをセットにしました♪ その他人気の焼き菓子も一緒に楽しめます。

大どろぼうとは一体だれなのか？
余韻に浸りながらお召し上がりください。



お知らせ

◎2025年11月～2026年1月の休館日について

館内メンテナンス、展示替え等のため下記の日程は休館とさせていただきますのでご了承ください。※ は休館日です。

2025年 11月 November						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2025年 12月 December						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2026年 1月 January						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



美術館のHPはこちら